

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	13 日	記入者	亀田幸英
調査者名	亀田	神野	鈴木	東辻	前田

文化財名	イワツバメの越冬地				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1973年(昭和48)3月15日				
所在地	吉野郡吉野町上市				
所有者 管理者	管理者 吉野町教育委員会				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	無し				
公開	営巣地は常時見学可能				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (吉野町上市の桜橋に隣接した国道橋の真下に多く営巣している。)				
当面の課題	営巣地の下方に駐車場があるため、糞を落とされて困らしいが、やむをえないだろう。当面の課題として、出来れば営巣数や個体数の把握・記録が必要ではないだろうか。				
今後の課題	イワツバメが越冬地として適切な環境の地を選択しているので、県の天然記念物として暖かく見守り、継続的に統計を取っていく必要がある。				
その他 (由緒など)	「公益財団法人日本野鳥の会」のホームページによると、イワツバメはツバメより翼や尾が短く、腰が白い。全長約14cm、翼開長約30cm。九州以北の山地や市街地に飛来するが越冬するものもいる。観光地のホテル、町のビル、橋の下などに巣をつくり、集団で繁殖する。巣は深いどんぶり型で、上部は壁にくっついていることが多く小さな入口から出入りする。さえずりは、飛びながら、濁った声を交えて、複雑に早口で長く続ける。				
コメント	吉野町の担当者によると、「夏に一度巣立ちして、秋に帰ってくる。越冬して春には外に出てくる。それまでは巣ごもりしているが、よく晴れて暖かい日は外を飛び回ることがある。上市橋の下よりも上流の桜橋に隣接した国道橋の真下に営巣する数のほうが多い。その場所は役場の駐車場の真上で、人間がそばにいる環境を好むためと思われる。」 今後もツバメと人間の共存風景が長く続くように見守りたい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	3 月	13 日	記入者	亀田幸英	
調査者名	亀田	神野	鈴木	東辻	前田	

文化財名	イワツバメの越冬地
------	-----------

吉野川に架かる桜橋(吉野町上市)・右端は妹山	桜橋に隣接する国道(169号)橋・<駐車場の真上>
------------------------	---------------------------



国道橋下のイワツバメと巣(どんぶり型)

国道橋の下では集団で営巣



吉野川下流の上市橋

上市橋下の営巣(写真はこの頁6枚全て2021.3.9撮影)

